

令和8年度 1学年 理科指導計画・評価計画

学期	月	単元名	時数	学習内容	知識・技能
1 学期	4	生物の世界	26	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生物の観察 ・植物のなかま ・動物のなかま ・まとめ等 	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する基本操作や記録手法などの技能を身に付けている。
	5				
	6				
2 学期	7	物質のすがた	26	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな物質 ・気体の発生と性質 ・水溶液 ・まとめ等 	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた、水溶液、状態変化などを理解しているとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付けている。
	8				
	9	大地の変化	27	<ul style="list-style-type: none"> ・火山 ・地震 ・地層 ・大地の変動 ・まとめ等 	大地の成り立ちを様々な事物・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石、火山と地震、火山災害・地震災害などを理解し、観察・実験などに関する技能を身に付けている。
	10				
3 学期	11	身近な物理現象	26	<ul style="list-style-type: none"> ・光の性質 ・音の性質 ・力のはたらき 	身近な物理現象を日常生活と関連付けながら、光と音、力の働きを理解しているとともに、その観察・実験などに関する知識・技能を身に付けている。
	12				
	1				
	2				
	3				
		配当時数(合計)	105	評価方法	・ペーパーテスト、小テスト、教師の観察、提出物、ワークなど

各単元における観点評価規準

思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身近な場所などで生活している様々な生物について、観察・実験などを通して、生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見だし、科学的に表現している。	身の回りのいろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、生物の活動と自然環境などをとらえ科学的に探究しようとしている。
身のまわりの物質について、課題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性などを見いだして科学的に表現している。	身のまわりの物質に関する事物や現象などに興味をもって進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、日常生活との関係をとらえ、科学的に探究しようとしている。
大地の成り立ちと変化について、課題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性や地下のマグマの性質と火山の形との関係性などをとらえ、表現している。	大地の変化と成り立ちに関する事物や現象に興味をもって進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、身のまわりでみられる地学現象をダイナミックに関連付け、科学的に探究するアプローチを取り入れている。
身近な物理現象について、課題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、光や音の性質や力の働きに関する規則性や関係性を見だし、科学的に表現している。	身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
・ペーパーテスト、小テスト、教師の観察、提出物、ワークなど	・ペーパーテスト、小テスト、教師の観察、提出物、ワーク、予習、復習など